

総務教育常任委員会資料

(令和6年1月19日)

〔件名〕

・鳥取県庁改革プラン骨子案について

【行財政改革推進課】・・・2

総 務 部

鳥取県庁改革プラン骨子案について

令和6年1月19日
行財政改革推進課

県政の持続的発展に向け、限られた行政資源を最大限活かした県政運営を行っていくため、「目指す県庁の姿」及び「取組の方向性」を示す「鳥取県庁改革プラン」を策定することとし、この度その骨子案を作成しましたので、報告します。

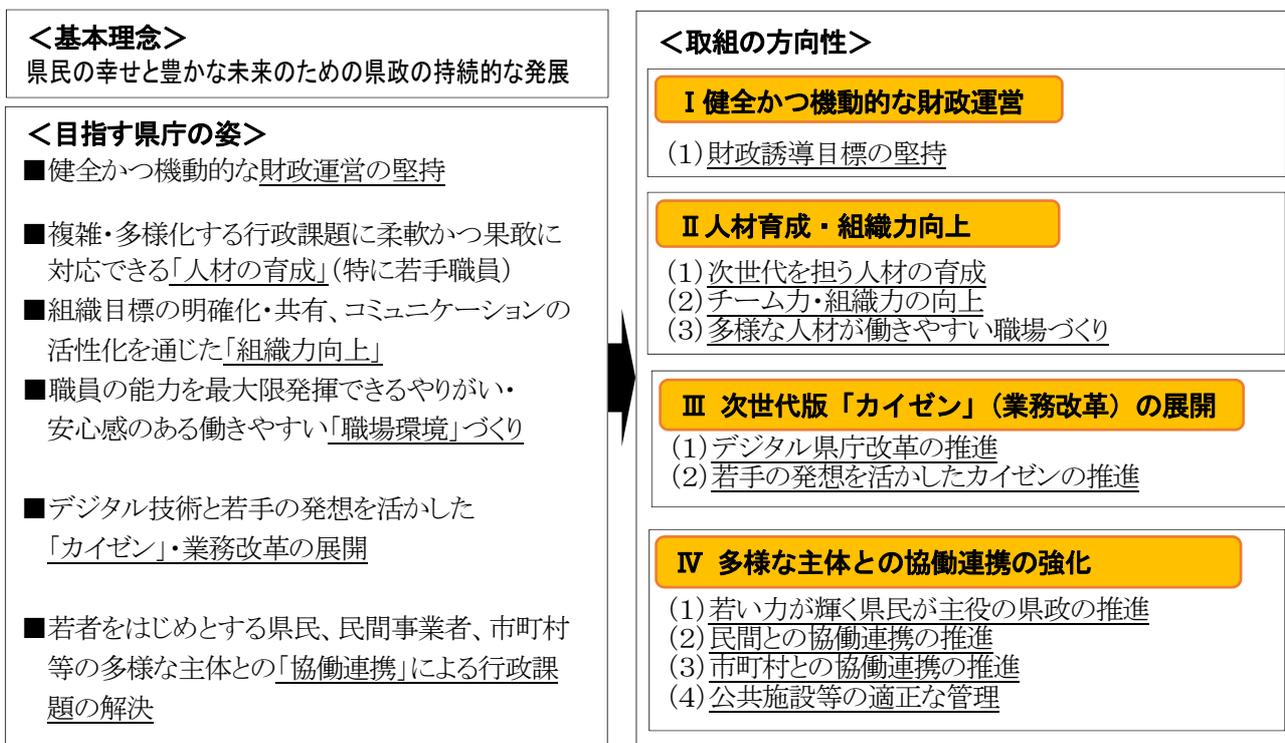
1 策定の趣旨

行政課題の多様化・複雑化の中で、限られた行政資源(人員・予算等)を最大限活かし、政策の質・量・スピードを並立させた県政運営が求められている。

一方で、近年のコロナ禍等も契機として職員のコミュニケーションの希薄化、時間外勤務の増加等もあり、若手を中心とした職員の新たな発想を活かしながら、効率的で、かつ、やりがいをもって働くことのできる県庁づくりを進めていく必要がある。

これらの県行政を取り巻く現状を踏まえ、県政の持続的発展に向けた「基本理念」及び「目指す県庁の姿」を示し、それを実現するための取組の方向性を定めた「鳥取県庁改革プラン」を策定する。

2 鳥取県庁改革プランの骨子案



※計画期間:令和6年度～8年度(3年間)

※骨子案策定に当たっては、副知事を本部長とする「県庁改革プロジェクトチーム(注)」でのこれまでの議論を反映した。

(注) 県庁改革プロジェクトチーム

若手職員の主体的な発想を活かして次世代を見据えた県庁改革を推進するため、「危機突破・活力再生プロジェクトチーム」のひとつとして令和5年4月に設置した若手職員と部局長で構成するプロジェクトチーム。前向きなカイゼンの展開や、やりがいのある働きやすい職場づくり、人材育成・組織力向上などをテーマに議論を重ねるとともに、具体的な取組を実施してきた。

3 策定に向けた今後のスケジュール

～2月 県庁改革プロジェクトチームメンバー意見を聴取しながら素案を作成

2月～3月 素案を常任委員会へ報告

3月～ プラン策定・公表予定

※具体的施策の取組状況について毎年度点検し、必要に応じ随時プランの見直しを行う。